腹部エコー検査を受けられる方へ

エコー検査とは？

エコー検査とは、人の耳では聞こえない高い周波数の音（超音波を、身体の中にあてて体内の断層像をモニターに映し出し病気をみつける検査です。

腹部エコー検査でわかること

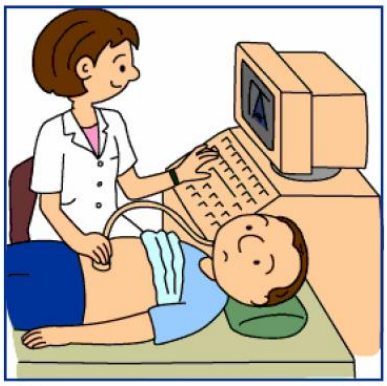
肝　臓：肝硬変、脂肪肝、腫瘍、肝内胆管の拡張など
胆のう：胆石、ポリープ、胆のう炎、腫瘍など
膵　臓：膵臓のはれ、膵管の拡張、腫瘍、のう胞（水ぶくれ）、結石など
脾　臓：脾臓のはれなど
腎　臓：腎臓のはれ、腎盂の拡張、腫瘍、のう胞、結石など
その他、前立腺、子宮・卵巣、血管などの異常も確認します。

検査前の準備



午前検査：検査前日は、午後８時までに夕食を済ませ、検査当日は起床時より絶食してください。
午後検査：朝食は朝８時までに済ませ、その後は絶食してください。
＊お小水が溜まった状態で検査を行いますので、検査２時間前に排尿を済ませ、検査直前はトイレへ行かないようにしてください。
＊腹部を露出しやすい服装でご来院ください。

検査中について



1．検査時間は２０分～３０分程度です。
2．ベットに仰向けに寝て、腹部を露出していただきます。
3．腹部に探触子という装置をあて、臓器の断層像をモニター上に写します。
4．対象となる臓器をいろいろな方向から写して、異常がないか観察します。
5．痛みの伴う検査ではありませんが、少し強めに装置を押し付けることがあります。
6．途中で呼吸を止めたり体の向きを変えたりしていただきますので、ご協力お願いいたします。

2026.09/09 作成

社会医療法人　美杉会　佐 藤 病 院